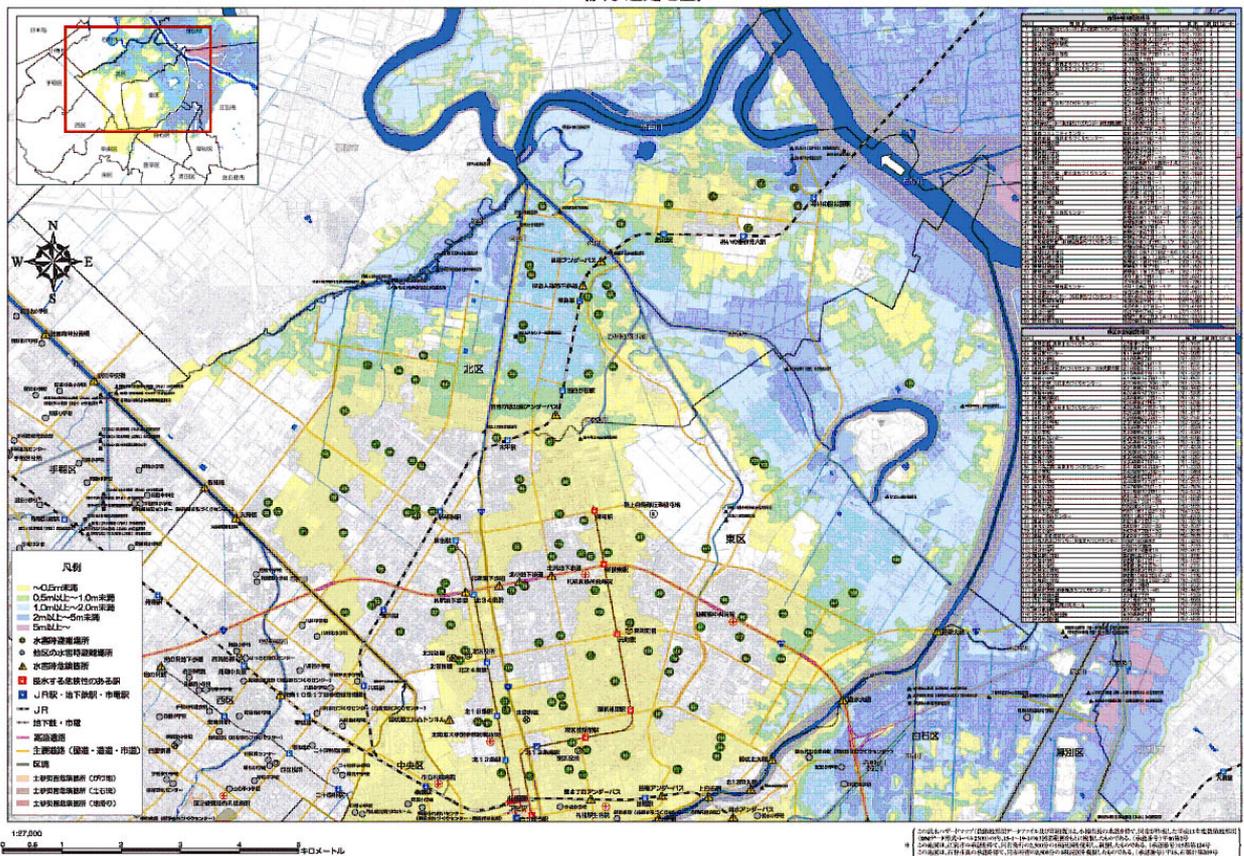


札幌市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）

札幌市洪水ハザードマップ(北区・東区)
(洪水避難地図)



- 札幌市洪水ハザードマップは、北区・東区版、中央区・豊平区版、白石区・厚別区版、西区・手稲区版の4種類で構成しています。(画面は北区・東区版)
- 図面左上に札幌市域のどの部分を切り出したかが分かるように位置図を表示しています。また、図面左下には凡例を表示しています。
- 5段階に色分けした部分は、石狩川、豊平川、その支川の月寒川・厚別川の堤防が大雨により決壊した場合、浸水した氾濫水が最大でどれ位の深さになるのか、また、どの位の範囲に浸水が予想されるのかを表しています。
黄色の地域は50cm未満、緑色の地域は50cm以上～1m未満、水色の地域は1m以上～2m未満、青色の地域は2m以上～5m未満、紫色の地域は5m以上の浸水が予想されることです。なお、白色の地域については、今回の想定では浸水の影響を受けない結果となっていますが、小さな河川の氾濫や下水道の排水能力を超える雨ではマンホール等からの氾濫が予想されるため白色の地域でも浸水する可能性があるため注意が必要です。
- 緑色の丸に白色数字は水害時の避難場所です。札幌市では地震、その他の災害に備えて約600カ所以上の収容避難場所を指定していますが、この水害時避難場所は職員の動員体制が整っている市有施設の中から、建物の形態や浸水予想を勘案した上で水害時に収容可能な避難場所を選定しています。
図面右上にはそれらの避難場所を一覧表で表示し、施設名、住所、電話番号、階数、エレベーターの有無を記載し、また、その他の区へ避難することも考えられるため、他区にある避難場所はねずみ色の丸印で表示し、併せて施設名を記載しています。
- 黄色三角形の中に「！」マークは、水害時に水没する危険性や通行ができなくなる危険性があるアンダーパス、地下歩道、大きな川に架る橋など水害時に避難する際に注意が必要な箇所を表示しています。
- 赤色と青色の電車マークは、このマップの想定において浸水が予想される地下鉄駅とそれ以外の地下鉄駅を表示しています。また、浸水する可能性がある地下街等についても赤色で表示しています。
- その他、北区、東区にはありませんが、降雨とともに発生する土砂災害、崖崩れ、土石流といった危険箇所についても、併せてこのマップの中に表示しています。